

雲海 観光振興の呼び水に

美郷町

テクノシステム(出雲)、鳥取環境大と連携 「予報」手法確立を目指す

美郷町が、建設コンサルタント会社のテクノシステム(出雲市)、鳥取環境大(鳥取市)と連携し、雲海の発生を予測する研究に乗り出す。町内に眺望スポットがあり、目を見張る景観や美肌効果に着目。「雲海予報」を出して観光客来訪の呼び水にするなど地域振興に生かそうと発案した。町内で1年間かけて気象条件を調べ、予報の手法確立を目指す。



美郷町粕洲の野間地区に広がる雲海

同町内では、毎年春と秋に同町粕洲の野間地区と同町上野の田之原地区を中心に雲海が発生する。町は、幻想的な景観や一定の湿度が保たれる環境が観光振興や美肌につながると考え、活用策を模索。雲海の発生を事前に予測し、時期を広く伝えることで、来訪者を増やし、地域経済の活性化を図ろうと、研究に取り組みを決めた。



協定を締結し、手を重ね合わせる(左から)重田祥範准教授、嘉戸隆町長、日野幹雄社長

「風の国」今夏 本格開業

宿泊機能 充実

GW前に既存施設再開

江津

江津市桜江町長谷の温泉リゾート施設「風の国」が今夏、グラウンドオープンする。市から施設の譲渡を受けたビル管理業、第一ビルサービス(広島市)が宿泊機能を拡充し、高級感あるキャンプが楽しめる「グランピング」サービスなどを新たに提供。大型連休を前に、既存の温泉、宿泊、レジャー施設が揃った。市は経営難の同施設を再建するため、運営していた第三セクターを3月末に解散する。GW前に再開した。市は経営難の同施設を再建するため、運営していた第三セクターを3月末に解散する。GW前に再開した。



26日に営業再開し、今夏にグラウンドオープン予定する風の国

犠牲者を手う東京都慰霊堂の拝礼は、戦時中、全国各地に及んだ空襲の死者の追悼でもあった。前年には約2万人の日本軍が壊滅した硫黄島

「旅」に限らない。神奈川県横須賀市の観音崎公園にある「戦没船員の碑」を繰り返し、沖繩慰霊の日、広島、長崎への原爆投下日と終戦の日を訪問し、商船や漁船で6万人を霊碑に深々と頭を下げた。陸超えた船員の犠牲を悼んだ。「忘れてはならない四つの日」

交流は今後も続くといい。心から安堵しています。陛下は昨年12月の誕生日記者会見でしみじみと語った。

気象観測機器の取引を通して同町と関係があるテクノシステムが気象観測データの有効活用を模索し、雲海や霧を研究する鳥取環境大環境学部の重田祥範准教授と連携していることから、3者で連携協定を結ぶことになった。

今後は、研究フィールドとなる同町が気象観測データを提供。同大がテクノシステムとともに雲海予報の研究に当たり、町内を学生のフィールドワークの場として活用する。10月に予定する町ホームページの更新に合わせ、雲海のライブカメラ映像や試験的な雲海予報の公開を目指す。

城周辺で交通規制 臨時駐車場も設置

松江市、GW期間中、ゴールデンウィークの27日から5月6日まで、松江市が松江城(殿町)周辺3カ所を交通規制を行う。旧県立プール跡地広場(学園南1丁目)に270台分の臨時駐車場を設け、シャトルバスを運行する。いずれも無料で利用できる。

交通規制は毎日午前10時午後5時に実施。塩見縄手沿いの県道37日泉八雲記念館前



ブラックホール撮影に貢献 秦さん 5月13日講演

松江・玉湯公民館

世界初のブラックホール撮影に成功した国際研究チームの主要メンバーで、松江市玉湯町出身の秦和弘さん(35)が国立天文台水沢V

LB1観測所(岩手県)助教が5月13日、同町の玉湯公民館で講演する。企画した岩田渥男館長(74)は「秦さんは玉湯の誇り。世界的な研究成果を話してもらい、子どもたちに夢を与えてほしい」と来場を呼び掛ける。

秦さんは望遠鏡の運用や撮影の経緯などを説明する



M87銀河で撮影に成功したブラックホール(中央の黒い部分)と、周りを取り巻くガスから出る光(国立天文台などの国際チーム提供)

五輪ソフト日本代表が合宿 受け入れへ実行委初会合

雲

2020年東京五輪に向け、11月に松江市内で合宿を行うソフトボール日本代表を支援する「SOFT JAPAN」出雲キャンプ実行委員会」の初会合が26日、

11月などで行われ、選手にとっては最終メンバー入りか懸かる真剣勝負の場となりそうだ。一方、練習を公開するほか、市民との交流イベントなど、選手と触れ合う機会もある。

実行委は競技団体や教育、商工団体などの関係者17人で構成。委員長に選ばれた出雲市商工団体協議会

【安来】	26日
【松江】	25日
【雲南】	25日
【奥出雲】	26日
【出雲】	25日